



## 優秀なドライバーは挨拶ができる人

### 挨拶は人をつくる

ラマダン月を迎えたアブダビの街の朝、海沿いのコーニッシュストリートを走っていると、海からの朝靄の中、前を見ても、バックミラーで後ろを見ても、車が少なく、日頃のレース場のような競争やスピードを出す車もなく、海や街並みの景色を楽しみながらゆっくりと海岸通りを走る。他にも学校までの道はあるけれど、この道が好きで、約10分ほどのコーニッシュドライブは、ゆったりとした気分させてくれ、日本人学校に着くことが出来ます。

ご存じのように日本人学校では、毎日、教員たちが並んで、バスから降りた子どもたちとハイタッチしながら挨拶をしています。朝、スクールバスが着くたびに、帰りは大きく手を振って元気よく挨拶しています。

「挨拶は人間関係の基本」です。それについての「ちよっといひ話」が雑誌に載っていましたのでご紹介します。⇒⇒⇒⇒⇒



テレビのクイズ番組を見ていました。長年、自動車運転の指導をしている人が出題者の一人でした。安全運転のPRや運転技術の向上などに携わっていたことから、『運転ミスを起こさない人の特徴が、その人と会うだけで分かるようになりました。安全運転をする人の特徴は、次の四つのうちどれでしょうか』という問題です。

A 几帳面な人、B せっかちな人、C ゆっくりとした人、D 挨拶ができる人

さて、皆さんがクイズの解答者なら、ABCDのどれを選びますか。(この欄のテーマが「挨拶」だから、もう答えは明らかですが)

では、Aの几帳面な人はどうでしょう。これは違います。慎重すぎることは必ずしも良くはないのです。Bも違います。落ち着きがないので、よく周りを見ないことが多いのです。次のCも違います。とっさの判断には弱いようです。そうです、予想通りDが正解でした。



なぜ「挨拶のできる人」が事故を起こさないのでしょうか。挨拶のできる人は他の人によく注意し関心が持てるからです。言い換えれば、他を思いやることができているからです。他を思いやるのは対象となる車にも人にも及びます。それが無理はしない、自分勝手なことはしない。したがって事故を起こさないのです

挨拶のできる人は、言い換えると、マナーのよいことです。マナーは、一人ひとりの真心の表現とも言えます。相手の人を思いやる心の表現です。



挨拶は、お互いの間に好ましい人間関係が生まれるきっかけにもなったり、和やかな雰囲気が出来たりします。このことは、日常だれもが経験し、知っていることと思います。挨拶は、普段から心掛けておかなければ、入試の面接やお祝いの際に、急に行くと心が相手に届きません。挨拶のできる人は、いろいろな場面で、さまざまなことにより影響が生じています。大きな声で、明るく、立ち止まって「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」 できますね。〈雑誌PHPより〉

